

ディボーション質問表

1日(日) 先週一週間のディボーションを振り返ってみましょう。

1. 心に残った箇所、教えられた箇所に何か共通点はありましたか？
2. その中で一番心に残っていることは何でしょうか？
3. 教えられた事をどのように先週の歩みの中に生かされたでしょうか？ その事を誰かに分かち合ってみませんか。

2日(月) マルコの福音書 11:1~52

11章全体を読んでください。この章は、信仰について多くの事を教えています。12~14節、20~26節の中で、信仰の原則を発見してください。どのようにしたら、この山をも動かす信仰を持てるのでしょうか？

3日(火) マルコの福音書 12:1~17

1. 農夫たちの犯した罪は何だったのでしょうか？ その罪によって見えなくなってしまったことは何ですか(1~12節)？
2. 税金、什一返金、献金に関するイエス様の教えは何ですか(13~17節)？

4日(水) マルコの福音書 12:18~44

1. イエス様はサドカイ人に「思い違いをしている」と言っています。彼らの思い違いとは何でしょうか？ また彼らの質問の動機はどのようなものですか(18~27節)？
2. 一番大切な戒めは何ですか？ その戒めは何よりもずっとすぐれていますか(28~34節)？
3. なぜ、イエスさまは詳しく、献金をする人たちや方法に関して意見を述べたのでしょうか？ なぜ、やもめの捧げものが、それほどまでに神を喜ばせたのでしょうか(41~44節)？

5日(木) マルコの福音書 13:1~20

1. イエス様は困難と惑わしの時代のただ中で、何に目を向けるべきだと教えていますか(1~8節)？ 迫害の中で達成される目的は何だと語っていますか(9~13節)？
2. 『『荒らす憎むべきもの』が、自分が立ってはならないところに立っている』という言葉は、AD70年、エルサレム神殿がローマ軍によって踏みつけられ、そこに偶像の祭壇が建てられることを預言されたのです。『荒らす憎むべきもの』は、ダニエル9:27にも言及され、BC168年に自分を神の現れだと言ったシリアの王安ティオコス・エピファネスがエルサレム神殿にゼウス神の祭壇を建て、ユダヤ人たちの嫌悪する豚の血をまくなど、神殿を冒瀆した事件を指します。終末には神の名と聖さが汚され、偶像崇拜が絶えず、神の民への迫害が厳しくなることを表しています(14~20節)。

6日(金) マルコの福音書 13:21~37

1. イエス様の再臨のしるしは、何ですか(24~37節)？
2. 誰が、イエス様の再来の日(携拳)に救われますか(24~37節)？ イエス様の再臨の時のために、何を準備しなければなりませんか？

7日(土) マルコの福音書 14:1~72

何がイエス様に起こったかについて深く考えるために、想像力を最大限に使って14章全体を読んでください。なぜ、そしてどのように、あなたのために十字架上で死ぬ前にイエス様はすべての苦しみを通り抜けられましたか。その後、彼があなたのためにしてくださったことに感謝を捧げてください。最もあなたに触れたことを書きとめましょう。